

第1回 Web オープンキャンパス(6/14) 学科相談コーナー Q&A

生活学科 住居・デザイン専攻

Q1 鳥取短期大学で建築を学ぶ点のよさを教えてください。

A1 本学は、一級建築士、二級・木造建築士の受験資格を取得できる教育機関として国の認定を受けています。必要な指定科目を履修した卒業生は、卒業した年から建築士試験を受験することができます。(※一級建築士は、試験に合格しても登録するためには4年の実務経験が必要です。)
現行制度では、短大の2年間で受験資格を得て、試験に合格する方法が建築士への最短ルートです。建築についてさらに深く学びたい場合、四年制大学へ3年次編入できる道もあり、編入した大学在学中に二級建築士を取得した卒業生もいます。
また、建築とデザインの科目の両方を同時に学ぶことができ、建築を志す場合もデッサン、コンピューターグラフィックス系のソフトを使用する授業を履修することで、建築のデザイン力を磨くことができる大きな特色です。

Q2 短期大学で十分建築について学ぶことは可能でしょうか？

A2 本学では、豊富な実務経験を有する建築技術者、デザイナーなどプロフェッショナルが授業を担当し、指導を行っています。2年間という限られた期間ですので、本人の学習意欲、努力も重要ですが、学生の学修状態に応じて個別指導も行いますので、卒業までに十分な基礎的な建築技術を習得することができます。

Q3 数3、物理を選択していることにメリットはありますか？

A3 建築に関する科目のうち、構造力学、環境工学などの分野では、あらかじめ数学や物理の基礎知識を有している方がより早く理解が進むので有利な面はあります。
一方、建築はデザイン力や作図能力を求められる「設計製図」や「インテリアデザイン」、あるいは法文の読解力が求められる「建築法規」など様々な分野があり、必ずしも数3、物理を選択していることが求められるものでもありません。

Q4 住居・デザイン専攻に入るために今からしといた方がいいことってありますか？

A4 苦手なものを克服する！数学や物理(履修してなければ数学だけ)の問題を少しでも解く。国語力も必要になるので、たくさん本を読む。デッサンが苦手ならたくさんの絵を書くということ。さらに、建築やデザインするには、五感をフルに活用するので、感性を磨くことも必要です。たくさん経験や学びを通して人としての幅を広げてください。

Q5 どれくらいの成績、学力があると鳥根大学総合理工学部建築デザイン学科に編入することが出来ますか？

A5 編入学を考える時、どうして編入学するのかを考えます。さらなる学びを求めて編入学するのであれば、建築やデザイン、そして色々な学びに関する学力には上限はないと考えます。

Q6 高校では機械系のことをしているのですが設計図は機械と建築では異なりますか？

A6 設計図は、建築・インテリア・プロダクトと分野の関りがあります。その中に機械製図も入ると思いますが、設計製図という基礎的な部分(用具や定規の使い方、縮尺等)は同じだと考えます。よって学びを通して、建築や機械、そしてプロダクトの設計製図を理解していきます。

Q7 建築士の合格率はどれくらいでしょうか？

A7 建築士の試験は、毎年 7 月ですが、4月上旬までに受験申し込みが必要で、卒業して間もないことから、卒業年に二級建築士試験を受験する卒業生は 50%程度です。年によって異なりますが、卒業生の合格率は概ね50%程度です。在学中から意識高く勉学にいそしんだ学生ほど合格率が高い傾向にあります。

Q8 検定資格を取得するために短期大学でどのような勉強をしますか？

A8 短大で取得できる検定試験の勉強は、授業の内容をしっかりと勉強すると取得できると思います。検定資格の 3 級から 2 級そして 1 級にあがっていくと、授業以外の問題集等を活用します。

Q9 島根大学建築デザイン学科へ編入する人は年間何人くらいですか？

A9 年によって違いはありますが、短大入学時、編入希望者の数は一定数あります。しかし、2 年次に進路決定する際、例年 1 人ないし 2 人になります。

Q10 絵が苦手でも大丈夫ですか？

A10 もちろん、大丈夫です。造形基礎や基礎デザインといった授業では、デッサンをはじめから学ぶことができます。また上手な絵というよりは、他の人が見て理解できる絵ということも大事ですので、そのような絵の描き方を学習します。